

国及び地方の長期債務残高 (平成15年6月)

(単位:兆円)

	5年度末 (1993年度末) <実績>	10年度末 (1998年度末) <実績>	13年度末 (2001年度末) <実績>	14年度末 (2002年度末) <補正後>	15年度末 (2003年度末) <予算>
国	246程度	408程度	514程度	542程度 (494程度) 注1	518程度
普通国債残高	193程度	295程度	392程度	428程度	450程度
地方	91程度	163程度	188程度	194程度	199程度
国と地方の差額	4程度	18程度	29程度	31程度	32程度
国・地方合計	333程度	553程度	673程度	705程度 (657程度) 注1	686程度
対GDP比	68.3%	107.7%	133.9%	141.2% (131.4%) 注1	137.6%

- (注) 1. 14年度末の()内は、郵政事業特別会計及び郵便貯金特別会計の借入金残高(合計49兆円程度)を除いた場合の数値(両特別会計は14年度末で廃止)。
 2. 14年度末の普通国債残高は、15年度借換国債の14年度における発行予定額(約9兆円)を含む。
 3. 14年度末の国の長期債務残高及び普通国債残高は、実績ベースでは、それぞれ536兆円程度(郵政・郵貯特会の借入金残高(合計49兆円程度)を除くと487兆円程度)、421兆円程度。
 4. GDPは、14年度は実績見込み、15年度は政府見通し。
 5. このほか15年度末の財政融資資金特別会計国債残高は96兆円程度。